安全作業手順書【背面水切板撤去作業】

作成日・改正日	2025/4/1 （前回改正：2024/4/1）	現場名	東名高速道路（豊田IC～春日井IC） 名古屋第二環状自動車道 （名古屋IC～飛島北IC,有松IC～上社JCT）
機器工具・車両	インパクトドライバー、バール、橋梁点検車、夜間照明、清掃用具一式	保護具	ヘルメット、安全ゴーグル、安全ベスト、保護メガネ、マスク、皮手袋、墜落制止用器具

見積もり基準をした危険性の評価

重大性(B) / 可能性(A)	○ 軽微（不休と休業３日以内）	△ 重大（休業４日以上）	× 極めて重大（死亡・障害が残る）
○ ほとんど起こらない（５年に１回程度）	○○（極めて小さい）	○△（かなり小さい）	○×（中程度）
△ たまに起こる（１年に１回程度）	△○（かなり小さい）	△△（中程度）	△×（かなり大きい）
× かなり起こる（６ヶ月に１回程度）	×○（中程度）	×△（かなり大きい）	××（極めて重大）

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例

危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし（様子を見る）
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分		作業手順・作業内容	急所	危険ポイント（～なので～になる）	リスクの見積り (A)	(B)	リスク	安全対策（危険度２以下へ）（私達はどうする）	リスクの再見積り (A)	(B)	リスク
準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう	作業員全員で	手順を間違えて思わぬケガをする	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	1
		作業員の役割（運転手、助手）を決める	免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って	免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう	○	×	3	乗車時に必ず免許区分明示車両ｽﾃｯｶｰを確認する	○	△	2
		作業場所及び車線を確認する	上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように	/	/	/	/	/	/	/	/
		交通規制状況を確認する	必ず当日の規制簿を使用して	/	/	/	/	/	/	/	/
		使用機械、工具等の点検を行う	作業前に	作業中に機械が故障し、思わぬケガをする	△	×	4	作業前に必ず道具、工具、機械類の点検を行う 刃の可動部、連結部はレンチ等の工具にて緩みが無いことを必ず確認し、始動確認を行う。	○	○	1
		しらすんだーの動作確認及び点検を行う	朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる	△	×	4	毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○	○	1
		車輌の配置箇所を確認する	作業員全員で	調書などの飛散、または測定用具を現場におきわすれてしまう	△	×	4	ファイルに閉じる。現場から離脱する際は場内を確認する	○	○	1
		現場内の動線を確認する	作業員全員で	/	/	/	/	/	/	/	/
	車両確認	セーフティーバイブル	25.車両回送手順書に則る								
	作業車両準備										
	作業車両点検										
	出発準備										
本作業	出発										
	規制内進入										
	車両移動停止										
	逸走防止										
	規制内入場	事前打ち合わせ箇所より入場	①ゆっくり減速して後続車に注意を促す	急に減速して後続車に追突される	X	X	5	300mハザード、100手前ウインカーのルールーを守り減速	○	○	1
			②入場順を守り規制内での入れ替わりをなくす	入れ替わり時車道側にはみ出て接触する	△	X	4	事前打ち合わせを確実に行う	○	△	2
			③規制内は10km～15kmくらいの低速で	車線規制内の安全施設に衝突する	△	X	4	ルールは守り焦らず、慎重に	○	○	1
	使用機器等	車両から必要機械を降ろす、照明を照らす	①手袋などを着用して ②手・指挟まれに気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△	△	3	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○	○	1
			②照明を一般車に向けないよう注意する	一般車に光が当たり視界不良になる	△	×	4	点灯時移動時は必ず角度を確認する	○	○	1
			③使用機械は必ず事前に点検する	点検中突然機械が動き出してケガをする	X	X	5	点検修理時は必ず電源を抜いてから開始する	○	○	1
			④橋梁点検車を作業範囲に配置する	不適な位置に設置したため作業時構造物に接触する	X	△	4	必ず誘導員を配置して指示に従う	○	○	1
	背面水切板撤去	固定ボルトナットをとる	①撤去するボルトナットは必ず作業床内で回収する	回収時外したナットが落下し一般車に当たる	△	X	4	必ず作業床を配置し隙間を作らないようにする	○	△	2
			②撤去時騒音に注意する	夜間の音出しで周辺住民に迷惑をかける	△	X	4	電動器具の使用と会話は控える	○	△	2
		水切板を撤去する	①必ず2人で共同作業する（声を掛け合う）	足の上に落下させたり手を挟むけがをする	X	X	5	必ず相互に声を掛け合い思い込みで作業しない	○	○	1
			②撤去時錆埃等の清掃をする（下部道路への落下に注意する）	高欄上清掃時錆等が一般道側に落下して車両に当たる	X	X	5	出来るだけ本線車道側へ掃き出し、できれば掃除機を使用する	○	△	2
	運搬	撤去した水切板を運搬車両に積み込みする	①長尺品なので周囲を確認してから運搬する	車両積み込み時反転した時車道側に端部が出て衝突する	X	△	4	ゆっくり慎重に2人で確認し合い慌てた作業はしない	○	○	1
			②橋梁点検車の作業床にできるだけ仮置きしない	狭い中での作業で体に当たりケガをする	X	△	4	撤去の都度本線側作業員と連絡し受け渡しをする	○	○	1
			③回送時の飛散に注意する	後続車に飛散物が当たる	X	X	5	ネットを装着して周囲を確認してから出発する	○	△	2
	廃材荷下ろし	廃材仮置き場で荷下ろしをする	①クレーン操作は必ず有資格者が行いゆっくりと丁寧に作業する	操作中につり荷が揺れて周囲の作業員に当たる	X	X	5	作業エリアには近づかない、玉掛は確実に行う	○	○	1
			②整理整頓をする	散乱した廃材につまずいて転倒する	X	△	4	動線は必ず確保し、使用した道具はその都度片づける	○	○	1
	清掃片付け	清掃後、作業具の忘れ物など内容注意する	①車道側清掃時は保安員の指示を守る	掃きだしたごみ埃が車道側に出て一般車が驚く	X	△	4	上流に保安員を配置してその都度指示のもと清掃する	○	○	1
			②全員で確認して、最後に責任者が確認する	忘れ物に一般車が乗り上げろ事故となる	△	△	3	作業後全員で確認して、最後に責任者が確認する	○	○	1
			③点検車の作業床も回送前に清掃する	作業床の網目から小物が落下して後続車に当たる	X	X	5	作業終了後必ず清掃し目視で確認する	○	○	1
	後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/
特記	1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。									
	パワーゲートを使用した荷台積み下ろし	パワーゲートを使い荷台にバルーン等を積み下ろし作業をする時は、積載物の落下またはゲート昇降による手の挟まれ、スライドバーの延伸による足挟まれに注意すること	①パワーゲートを昇降させるときは必ず声を掛け合図を行い、手・足が挟まれないことを確認し安全を確保してから昇降させる。 ②バルーン等のタイヤロックを外す時は、必ず声を掛け合図を行い、保持を確認して安全を確保してからロックを外すこと	声掛け合図を怠り、積載物またはゲートに手足をはさまれて怪我をする	○	×	3	パワーゲートを使用する際は必ず2人以上で作業をし、ゲートの昇降をする場合は声を掛け合い挟まれないように安全を確保してから昇降させる。	○	○	1
	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1